

特記仕様書

- 1 総 則 この特記仕様書は、市川市における消防吏員用活動服の購入について必要事項を定めることを目的とする。
- 2 件 名 消防吏員用活動服（冬用）の購入
- 3 契約形態 1 着、1 本あたりの単価契約
- 4 契約期間 令和6年8月19日から令和7年3月31日
- 5 使用生地 別紙「縫製規格書」のとおり
及び縫製
- 6 予定数量
(1) 消防吏員用
活動服（冬：上衣） 92 着
活動服（冬：ズボン） 101 本
※詳細は別紙「活動服（冬用） 所属別購入予定数」のとおり
第1回納入期日：令和7年1月31日（金）

(2) 新規採用消防吏員用（令和7年4月1日採用予定者）
活動服（冬：上衣） 5 着
活動服（冬：ズボン） 5 本
第2回納入期日：令和7年3月17日（月）
- 7 納入場所 市川市消防局 （市川市八幡1丁目8番1号）
- 8 担 当 課 市川市消防局 消防総務課
- 9 その他
 - 入札参加申請前に、市川市消防局消防総務課に生地規格についての「公的機関が発行する試験証明書」又は「社内試験成績書」（以下「試験証明書等」という。）を提出し、入札に参加しようとする製品の承諾を得て、「試験証明書等」に市川市消防局消防総務課の受付印を得ること。
 - ※1 「試験証明書等」は、燃焼性、制電性の試験結果が確認できるもの。
 - ※2 同等品の場合は、市川市消防局が指定する生地規格・形状・縫製を満たすものとする。
 - 入札参加申請の際に必要な書類に併せてメーカーからの「出荷引受書」について提出すること。
 - 選定するメーカーはすべて統一すること。
 - 落札者は、「出荷証明書」をすみやかに契約課に提出すること。

- 契約業者は寸法表に基づき吏員各々に対して着合わせ採寸を実施すること。寸法表で対応できない吏員については別寸で対応すること。
なお、採寸日は令和6年8月26～29日の4日間で、時間はいずれも8時40分から11時00分までとする。
- 採寸日の全日又は中2日に、女性の職員が来庁し女性消防職員の採寸を行うこと。やむを得ない事情で来庁できない場合は、消防総務課へ事前に連絡すること。
- 令和7年4月1日採用予定者の採寸日については、別途連絡をするが、令和6年12月中旬を予定している。
- 納入の際は、納品日を担当課に確認のうえ納入すること。
- 納品に際しては担当課担当者及び契約課担当者の検収を受けるものとする。
- この仕様に疑義を生じたときは、速やかに担当課担当者及び契約課担当者へ連絡し、指示を受けるものとする。
- 納入する製品については、傷・ムラ・斑点・汚れ・その他外観を損ねるものであってはならない。
- 納入は、プレス後上衣及びズボンに区分し、一枚ごとにビニール袋に入れ、職員氏名、サイズを記載すること。また、段ボール箱等を用いて、所属ごとに梱包し、箱の側面に品名、サイズ別数量及び納入業者名を表示すること。
- 本件は、生地規格・形状・縫製について、一般財団法人日本繊維品質技術センターの生地検査を行う場合がある。なお、検査にかかる費用はすべて契約業者が負担するものとする。
- 暴力団等排除に係る契約解除に関する特約条項を遵守すること。
- 特記仕様書に定めのない事項については、物品供給契約書（「物品供給契約約款」を含む）に定めるとおりとする。

縫製規格書

令和6年度

市 川 市 消 防 局

1 規格

この活動服は、総務省消防庁が定める消防吏員服制基準に基づき、製品規格は下表の通りとし、形状は縫製規格書の通りとする。

※規格書で表記している寸法の許容範囲は 1cm 未満は $\pm 0.1\text{cm}$ とし、1cm 以上は $\pm 0.5\text{cm}$ とする。

ただし、「3 主材料(参考)」及び縫い目数には適用しない。

製造業者	上衣	ズボン
(株)赤尾	NEO ファイン CA9305	NEO ファイン CA9305
(株)イマジョー	LKS902A	LKS904

2 形状

- (1) 上下共に、人体工学をベースにした特殊裁断ハギによる縫製とする。
- (2) 上衣は片袖 3 枚ハギ以上のカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。両胸に、雨蓋付左右アウトポケット(ファスナー付き)、左袖にペンポケット付きとする。
- (3) ズボン片足 3 枚ハギ以上の長ズボン型とし、腰部にウエスト伸縮構造、又はアジャスター付とする。前合せはファスナー開きとし、タックは外向きとする。左右脇斜め切りポケット、及び雨蓋付貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

3 主材料(参考)

A表生地

項 目	規 格
混 紡 率	メタ系アラミド 75%±5 パラ系アラミド 5%±5 ポリエステル 20%±5 (制電性繊維 0.5%以上)
番 手	縦 2/36 横 2/36 又は 縦 2/60 横 2/60
組 織	2/2 の綾織
密 度	縦 81 本 横 64 本／2.54cm 間以上
引張強度	タテ 1176N 以上 ヨコ 980N 以上 (JIS L 1096A 法)
引裂強度	タテ 50N 以上 ヨコ 40N 以上 (JIS L 1096D 法)
色 相	ブルー
寸法変化率	タテ ヨコ共に ±2%以内 (JIS L 1042 G 法)
燃焼性	残炎時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法)
	余じん時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法)
	炭化距離 10cm 以下 (JIS L 1091 A-4 法)
染色堅牢度	洗濯(変) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法)
	(汚) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法)
	汗変退色 4 級以上 (JIS L 0848 A 法)
	摩擦(乾) 4 級以上 (JIS L 0849 II 形法)
重 量	205±20g/㎡
制電性	7μC 以下 (JIS L1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

B表生地(下記もしくはA表生地と同素材)

項 目	規 格	使 用 箇 所
混 紡 率	メタ系アラミド 67%±5 パラ系アラミド 3%±5 ポリエステル 20%±5 難燃レーヨン 10%±5	1. 襟ライン 2. 背ヨーク 3. 胸ポケットフラップ裏 4. ポケットヒダ内側 5. 脇貼りポケットフラップ裏
番 手	縦 2/40 横 2/40 又は 縦 2/60 横 2/60	
組 織	2/2 の綾織	
密 度	タテ 86 本 ヨコ 75 本／2.54cm 間	
引張強度	タテ 1000N 以上 ヨコ 850N 以上 (JIS L 1096A 法)	
引裂強度	タテ 45N 以上 ヨコ 40N 以上 (JIS L 1096A 法)	
色 相	オレンジ	
寸法変化率	タテ ヨコ共に ±3%以内 (JIS L 1042 G 法)	
燃焼性	残炎時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法)	
	余じん時間 1 秒以下 (JIS L 1091 A-4 法)	
	炭化距離 12cm 以下 (JIS L 1091 A-4 法)	
染色堅牢度	洗濯(変) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法)	
	(汚) 4 級以上 (JIS L 0844 A-2 法)	
	汗変退色 4 級以上 (JIS L 0848 A 法)	
重 量	200±20g/㎡	
制電性	7μC 以下 (JIS L1094 摩擦帯電電荷量測定方法)	

4 縫製

(1) 一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当である事。
- イ. 縫い目の飛び、外れがない事。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをする事
- エ. 縫い目数は指定通りにする事。

地縫い運針数	12 針以上／3cm 間
飾リステッチ運針数	〃 / 〃
- オ. 飾リステッチ幅は 0.5cm でポケット袋部分等は端ミシンする事。
- カ. 飾リステッチは表ミシンとする事。
- キ. 各部の合標、曲線は充分注意する事。
- ク. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とする事。
- ケ. 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着する事。
- コ. 布地の目は正確に取る事。

(2) 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さはAL基準で 8cm とし、背中心で4. 5cm(標準)とする。表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾リステッチ 0.5cm 台襟上部は端ミシンとする。
- イ. 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを、地縫い返しをし、飾リステッチをする。
- ウ. 台襟は背中心で幅 3.5cm とし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央に衿吊りマークとサイズマークを挟み縫いする。
- エ. 上襟表衿一部はB表生地のアレンジとし、幅は AL 基準で 1.5cm とする。

2) 前身頃

- ア. 前合せの開閉はファスナー式とする。
- イ. 身頃と見返しを、地縫い返しをして、1 条の幅 0.5cm の飾リステッチをする。上前裏は前端より約 4cm 奥に 2 条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟み縫いする。
- ウ. 下前は身頃と見返しにファスナーを、挟み地縫い返しをして、一条の幅 0.5cm の飾リステッチとする。
- エ. 上前にA面、下前にB面(幅 2cm、長さ 3cm)の面テープを台襟下部より3カ所に縫い付ける。(標準)
- オ. 上前の胸ポケット上部にオレンジ色、タテ 1cm、長さ 8cm で「市川市消防局」(別図①参照)と刺繍で入れること、その下部に個人名用面ファスナーB(幅 2.5cm、長さ 5cm)を取り付ける。

カ. 下前の胸ポケット上部に階級章用面ファスナーB(幅 2.5cm、長さ 4cm)を取り付けること。

3) 胸ポケット

ア. 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを2個付ける。

イ. ポケットは端ミシンで縫いつける。

ウ. ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

エ. ポケット上部の二つ折りは内側に 2cm とし、1.5cm で飾リステッチとする。

オ. ポケットの縫い始めと縫い終わりはかんぬき止めをする。

カ. ポケット中央に面テープB面(幅 2cm、長さ 3cm)を付ける。

キ. 雨蓋は別図②の型とし裏面に面テープAを付け、地縫い返しをし、幅 0.5cm の飾リステッチとする。

ク. 左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。

ケ. ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏はB表生地 of オレンジとする。

コ. 左右胸ポケット ファスナー付き(外締め)。(別図②)

4) 後身頃、背ヨーク

ア. 背ヨークは一枚物 V 字型で背ヨーク下部後身頃 of 上部裁ち目にオーバーロックを掛け、地縫い片倒しをして、幅約 0.5cm の飾リステッチをする。

イ. 背ヨーク下端は上袖縫い of 位置に合わせる。

ウ. 背ヨークはB表生地 of オレンジ、もしくは(A)と同素材 of オレンジとする。

エ. 背ヨーク部分に消防指定 of 文字をプリントする。サイズ・レイアウト・色は別図① of 通りとする。

オ. 脇身頃は 2 枚ハギで中胴 of 位置で地縫い片倒しをして、幅 0.5cm の飾リステッチとする。

5) 袖及びカフス

ア. 袖は3枚ハギ以上とし、地縫い片倒し幅 0.5cm の飾リステッチとする。

イ. 上袖縫い目先端に袖口から 17cm まで 16cm of ファスナーを表から 1 条ミシン縫いする。

ウ. 開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。

エ. カフスは接着芯を貼り、地縫い返しをし、幅 0.5cm の飾リステッチをする。

オ. 袖口はカフスに挟み縫いをし、幅 0.5cm の飾リステッチをする。

カ. 着用左側 of 袖付け根より 8cm 下りで上袖前ハギ側に幅約 5cm 高さ 15cm of 2 本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。

キ. ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつけ、上部裁ち目はオーバーロック掛けとする。

6) 袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し、0.5cm の飾リステッチをする。

7) 脇縫い及び袖底縫い

前、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。

8) 裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅 0.5cm 以上 of 三つ折り式とする。

9) 片布

左右前身頃胸ポケット裏側に氏名片布、品質クロスを縫い付ける。

(3) 下衣

1) 前身頃

ア. 外向き深さ前側 2cm 脇側 1.5cm のタックを左右各 1 本以上とする。

イ. 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

2) 後身頃

ア. 腰ダーツを左右各 1 本以上とり片倒しとする。

イ. 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

3) 前立・天狗

ア. 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし、幅 3.5cm の飾りステッチとする。

イ. 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし、前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ. ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ. 棒シックは天狗裏スレーキと連続で、かんぬき止まりより 10cm 間、縫代のみ端ミシン掛けとする。

オ. 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

4) 脇斜め切りポケット

ア. 口幅 16cm の斜め切りポケットで接着芯を貼り袋地と縫い付ける。

イ. ポケット口中央で、幅 5cm 以上の向当てを付け、オーバーロックを掛け、袋地に縫い付ける。

ウ. 袋地底は地縫い返しをし、約 0.5cm 幅の飾りステッチをする。

エ. ポケット口上下をかんぬき止めする。

オ. 右ポケット内側に小物ポケット入れを付ける。

5) 脇貼りポケット

ア. 脇縫い中央で帯下部より 21cm から 25cm 下りに雨ブタ上部を地縫いし片倒しの上幅約 0.5cm の飾りステッチを掛ける。

イ. 雨ブタは縦 6.5cm、横 18cm で芯地を貼り、面ファスナーB(幅 2.5cm、長さ 4cm)を 2 枚縫い付け、地縫い返しをし、幅 0.5cm の飾りステッチを掛ける。フラップ中央内側に共生地ループ(幅 0.8cm)をはさみ縫いする。

ウ. 貼り付けアウトポケットは縦 20cm、横 17cm で、風きん幅 4cm の二方風きんとする。

エ. 風きんは、底と後方に作り、端ミシン飾りとし、前方と底の前方より 3cm までは直接身頃に縫い付ける。

オ. ポケット布は四方をオーバーロック掛け、ポケット口は 3cm で二つ折りをし、幅 2.5cm の飾りステッチをする。

カ. ポケット上部二つ折り部分に雨ブタに合うように面テープA(幅 2.5cm、長さ 4cm)を 2 枚

縫い付け、中央にループ止めボタンをつける。

キ. ポケット上部は二ヶ所かんぬき止めをする。

ク. 後方風きんは、たたんでポケット口より3cm まで直接身頃に縫い付ける。

6) 尻ポケット

ア. ポケット口幅 13.5cm、深さ 17cm を左右に付ける。

イ. ポケット口は芯入り片玉縁とする。

ウ. 左ポケットのみ釦止めとする。

エ. ポケット両端はかんぬき止めとする。

オ. ポケット口向当ては 4cm 以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。

カ. 袋地は左右を地縫いし、回りを幅 0.5cm の飾りステッチとする。

キ. 袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

7) 帯付け

ア. 仕上がり幅 4cm で 3.8cm の接着芯を全面に接着する。

イ. ウエスト伸縮構造又はアジャスターを用いて左右各 2cm 程度、拡張が出来るようにする。

ウ. 腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。

エ. ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫いつける。

オ. マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。

カ. 左右の帯の先端に前かんを付ける。

8) 脇、及び内股縫い

内股はインターロックミシン縫いとし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅 0.5cm(±0.1cm)の飾りステッチをする。

9) 尻縫い

ア. 縫い代は上部で 3cm、下部で 1cm とする。

イ. 裁ち目はオーバーロック掛けし、2 本針、4 本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする

10) ベルト通し

ア. 幅 2.4cm、高さ 6.0cm 以上 6.5cm 以下(有効長さ 5.5cm 以上 6.0cm 以下)を後中央 2ヶ所 左右 3ヶ所の合計 8ヶ所付けとする。

イ. 上部から 0.5cm 下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。

11) 片布サイズマーク及び品質クロス

左右ポケットに片布、織マーク・品質表示を付ける。

6 寸法(参考)

(単位 cm) 標準

上 衣					ズ ボ ン				
サイズ	首回	着丈	桁丈	胸囲	サイズ	腰回	渡り幅	股下	前タック
A S	37	72	76.5	100	W70	70	33	85 ハーフ	外向き 2本
A M	39	74	79.5	105	W73	73	34		
A L	42	76	82.5	110	W76	76	35		
ALL	44	78	85.5	115	W79	79	36		
ALLL	45	80	88.5	120	W82	82	36		
B M	41	75	80	115	W85	85	37		
B L	43	78	83	120	W88	88	37		
BLL	45	78	86	125	W91	91	38		
BLLL	47	80	89	130	W95	95	38		
					W100	100	39		

別図①

1. 背文字

ダークブルー スクリーン印刷 丸ゴシック体

320mm

50mm

市川市消防局

2. 左胸刺繍

オレンジ 明朝体

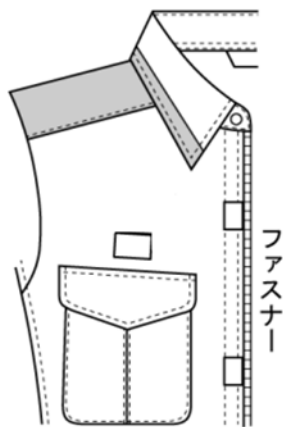
80mm

10mm

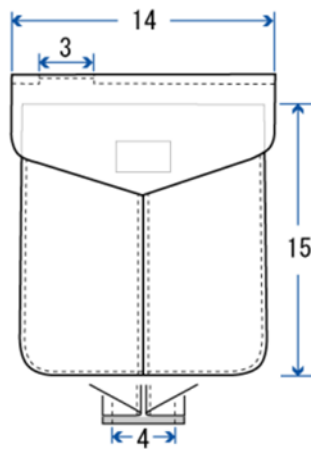
市川市消防局

別図② 上衣

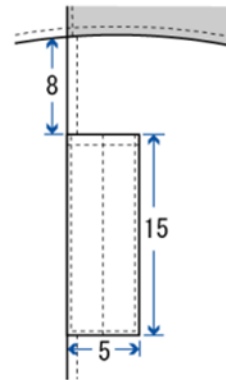
(単位：cm)



右前身頃 上部

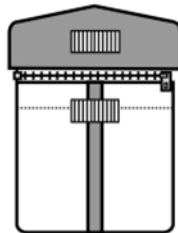


左胸ポケット



ペンポケット

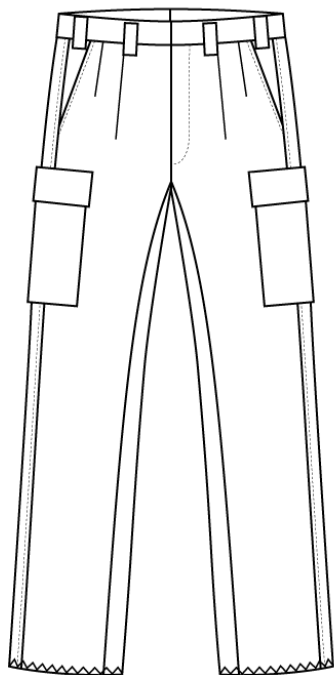
＜左右胸ポケット ファスナー付＞



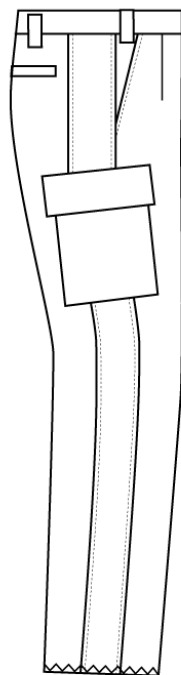
別図③ スボン(参考)

(単位 : cm)

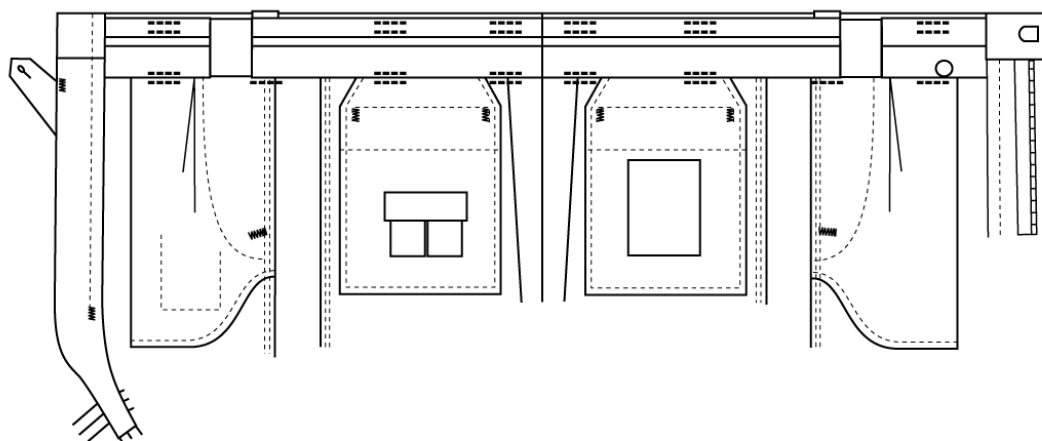
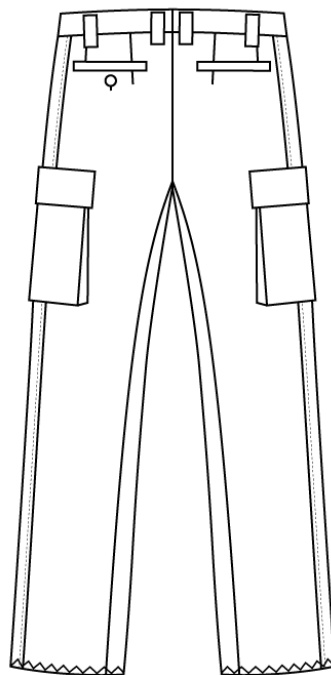
前 面



側 面



後 面



中 側 上 部

活動服(冬用) 所属別購入予定数

	上衣	ズボン
消防局	1	1
消防総務課	2	2
企画管理課	1	1
指令課	4	4
指令センター	9	9
予防課	1	1
警防課	3	4
救急課	2	2
東消防署	14	19
中山出張所	3	3
高谷出張所	1	3
西消防署	5	5
国府台出張所	4	4
大洲出張所	7	8
南消防署	13	14
行徳出張所	3	4
広尾出張所	2	3
北消防署	10	9
曾谷出張所	7	5
合計	92	101